

28.10.2015

第26回日本文化月間 切り絵・手鞠展示会

10月16日から23日まで、プロヴディフ市ギャラリーにて、第26回日本文化月間行事として、日本大使館、ブルガリア「切り絵」協会及び日本クラブ「絆」の共催により、切り絵・手鞠展示会が開催されました。また、17、18日には、切り絵及び手鞠のワークショップが開催されました。

繊細な技術が必要とされる切り絵は、1枚の絵を切り抜き、絵を作り上げていく絵画の手法です。切り絵アーティストのパパドゥプル氏は、日本せんが協会唯一の外国人であり、切り絵文化宣揚の第一人者です。今回の展示会では、同氏と同氏の弟子の作品の他、望月恵氏（日本）及びエロイザ・マルケティ氏（イタリア）の作品も展示されました。

様々な模様が大変鮮やかな手鞠は、糸を幾何学的に巻いて作られた芸術品です。手鞠アーティストのコエヴァ氏は、日本てまりの会に所属し、日本伝統工芸である手鞠の技術を伝承している芸術家であります。今回は、同氏が作成した日本の伝統工芸品組紐も、あわせて展示されました。

参加者からは、両芸術の美しさに感動したとの感嘆の声が寄せられました。



展示会初日の様子



望月恵氏作品



手鞠及び組紐展示品



切り絵展示品